

✓ 役割（権限）の違い

管理者の役割（権限）は
アイコンの色によって区別できます。



POINT

システム管理者と危機管理責任者を兼務することで、Administratorと同等の、**全ての操作を行える管理者**となります。

マネージャー



連絡状況

設問の集計表です。



連絡網

各ユーザーの通知先の登録状況が確認できます。

- 設定対象例 -

役員・各部門長、所属長



危機管理責任者



一斉送信

手動の一斉送信です。



運用設定

自動送信の設定ができます。

- 設定対象例 -

災害対策責任者・総務部



システム管理者



システム設定

部署やユーザー、管理者の登録が行えます。

- 設定対象例 -

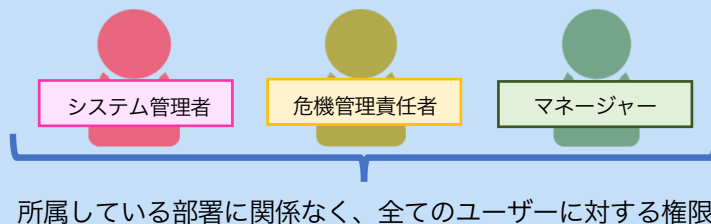
災害対策責任者
総務部・人事部

✓ 各管理者の運用イメージ

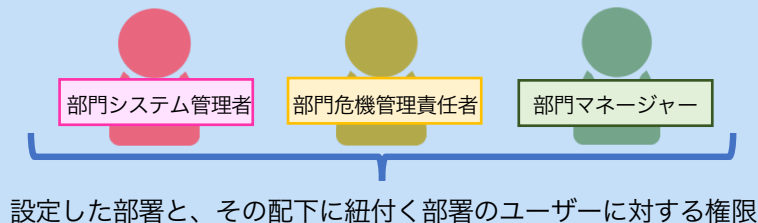
	マネージャー	危機管理責任者	システム管理者
事前準備	<ul style="list-style-type: none"> 連絡網の確認 	<ul style="list-style-type: none"> 連絡網の確認 設問フォームの設定 メールテンプレートの設定 自動一斉送信の設定 連絡先の確認設定 	<ul style="list-style-type: none"> ユーザー情報の登録,編集,削除 部署/地域の登録,編集,削除 管理者の設定 CSVファイルによる操作 その他セキュリティの設定
災害時	<ul style="list-style-type: none"> 連絡状況の確認 掲示板の作成,閲覧,書込 メッセージの作成,閲覧,書込 	<ul style="list-style-type: none"> 連絡状況の確認 掲示板の作成,閲覧,書込み メッセージの作成,閲覧,書込 一斉送信 	—

✓ 「部門」がつく管理者と、つかない管理者の違い

役割に「部門」のつかない管理者は、**所属する部署に関係なく**、全てのユーザーに対しての権限を有します。



役割に「部門」のつく管理者は、**役割（権限）の設定画面で選択した部署以下**に所属するユーザーに対しての権限を有します。



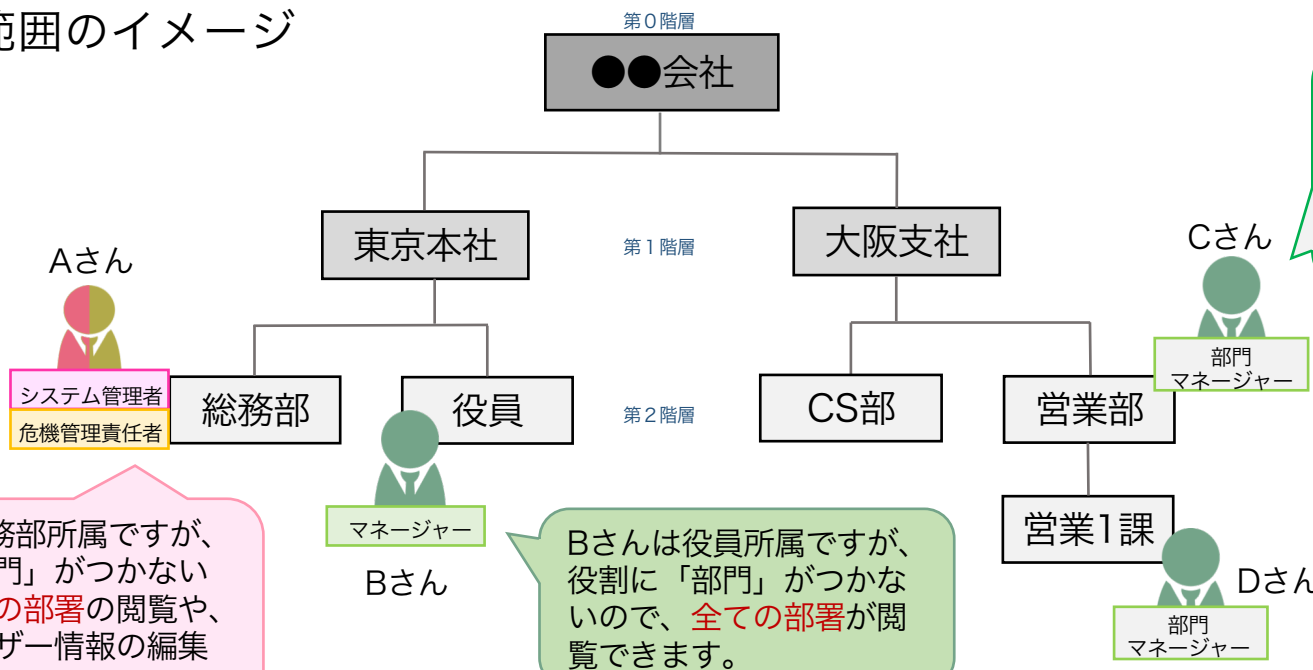
POINT

「部門」のつく管理者が、どの部署のユーザーに対して権限を有するかは、**部門の管理者が所属する部署に関係しておらず**、役割（権限）の設定画面で選択した部署と、その配下の部署に所属するユーザーとなります。

そのため、「部門」のつく管理者が部署異動等で所属部署が変わった際には、別途、役割の設定画面にて、権限の範囲を変更する必要があります。

※部門マネージャーは全てのプランで利用でき、どの階層にでも設定できます
※部門システム管理者と部門危機管理責任者は、エンタープライズプランのみ
※部門システム管理者と部門危機管理責任者は、第一階層でのみ設定できます

✓ 権限範囲のイメージ



Aさんは総務部所属ですが、役割に「部門」がつかないので、**全ての部署**の閲覧や、部署・ユーザー情報の編集などができます。

Bさんは役員所属ですが、役割に「部門」がつかないので、**全ての部署**が閲覧できます。

Cさんは営業部の所属ですが、役割の設定画面で【営業部とCS部の部門マネージャー】として設定すると、**営業部**と**営業1課**に加え、**CS部**も閲覧できます。

Dさんを営業1課の部門マネージャーとして設定すると、**営業1課**のみを閲覧できます。